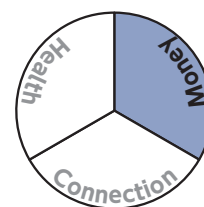


各国の主要政治・経済イベント予定 (10月6日時点)



11月の各国主要政治・経済イベント

	日本	米国	グローバル
上旬		10月ISM製造業景況指数(1日) FOMC(2-3日) 10月ISM非製造業景況指数(3日) 10月雇用統計(5日)	COP26(10月31日-11月12日) (中)10月財新製造業PMI(1日) (中)10月貿易統計(7日) APEC首脳会議
中旬	7-9月期GDP1次速報(15日) 10月貿易統計(17日) 10月消費者物価指数(19日)	10月消費者物価(10日) 10月小売売上高(16日)	(英) 7-9月期GDP速報(11日) (欧) 7-9月期GDP改定値(16日) (欧) 10月消費者物価(17日)
下旬	10月鉱工業指数(30日)	7-9月期GDP改定値(24日) 10月個人消費・所得(25日) FOMC議事要旨(25日)	(欧) 11月製造業・非製造業PMI(23日)

(注)作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。

11月の政治・経済イベント「APEC首脳会議」

APEC(アジア太平洋経済協力)とは、アジア太平洋地域の21の国と地域が参加する経済協力の枠組みのことを指します。APECはアジア太平洋地域における政府間経済協力の場として1989年に発足し、APEC首脳会議は1993年に開催されて以降、毎年秋に開催されています(2019年は議長国であるチリの国内情勢を理由に中止)。アジア太平洋地域の各国、各地域が高い経済成長を維持する中で、経済規模で世界のGDPの約5割、世界全体の貿易量及び人口の約4割を占めるなど、世界経済における重要性や役割は大きなものになっています。

2021年は新型コロナウイルスの感染が拡大する中、議長国であるニュージーランドが11月の公式会合に先立ち、7月16日に非公式首脳会議を開催しました。非公式首脳会議では、APEC首脳声明「新型コロナウイルスの克服と経済回復の加速」が発出され、グローバルなワクチン共有の努力や自由で開かれた貿易・投資環境を重視することが示されることになりました。11月の首脳会議においては、新型コロナウイルスや経済回復に関する議論の進展に加え、中国を巡る動向も注目されます。2020年のAPEC首脳会議において、習近平国家主席がTPPへの参加を前向きに検討すると発言し、今年9月に中国はTPPへの加盟を正式に表明しました。今回のAPEC首脳会議においても、中国のTPP加入を巡る発言がなされるのか注目されます。

ワクチンが徐々に普及することで、先進国を中心として多くの国で経済活動の再開に向けて歩みを進めていますが、依然として新型コロナウイルスは世界経済の脅威となっています。APEC首脳会議においては、非公式会合での声明で示された新型コロナウイルスの克服と経済回復の加速についての議論がより進展し、連携を強化することが望まれます。

(主任エコノミスト：小池 理人)